

## 葉山層群模式地の現状 (2)

平田 大二

Present state of type localities, the Hayama Group (2)

Daiji HIRATA

前回筆者(1980)は、葉山層群最下部の森戸硬質泥岩層模式地の現状について報告した。今回は、森戸硬質泥岩層の上位に重なる鏡摺砂岩泥岩互層と、さらにその上位の大山凝灰質砂岩層の模式地の現状について報告する。なお、地層名・模式地・分布については、三梨(1968)、三梨・矢崎(1968)の葉山層群の層相区分(木村1968未公表、の資料を提示)に従った。

### A. 鏡摺砂岩泥岩互層

鏡摺砂岩泥岩互層は凝灰質砂岩と泥岩の互層で特徴づけられ、1966年木村政昭により命名された。本累層は、小島(1954)の旗立山砂岩頁岩層、渡部・ほか

(1968)の戸根山砂岩泥岩層および大沢礫岩層の一部を含んだものに相当する。本累層の模式地は葉山町鏡摺海岸である。その分布は、模式地の鏡摺海岸から葉山町大沢・同町上山口にかけての地域と、横須賀市秋谷から同市野比にかけての地域に広がっている。

模式地の鏡摺海岸は、昭和47年に逗子市浄水管理センター建設のため大部分が埋め立てられ、現在わずか長さ50mほどしか残されていない。したがって、本累層の露頭も浄水管理センター防波堤の下や、葉山港の防波堤沿いに岩礁としてわずかに露出しているにすぎない。

浄水管理センター防波堤の下に露出する岩相は、灰

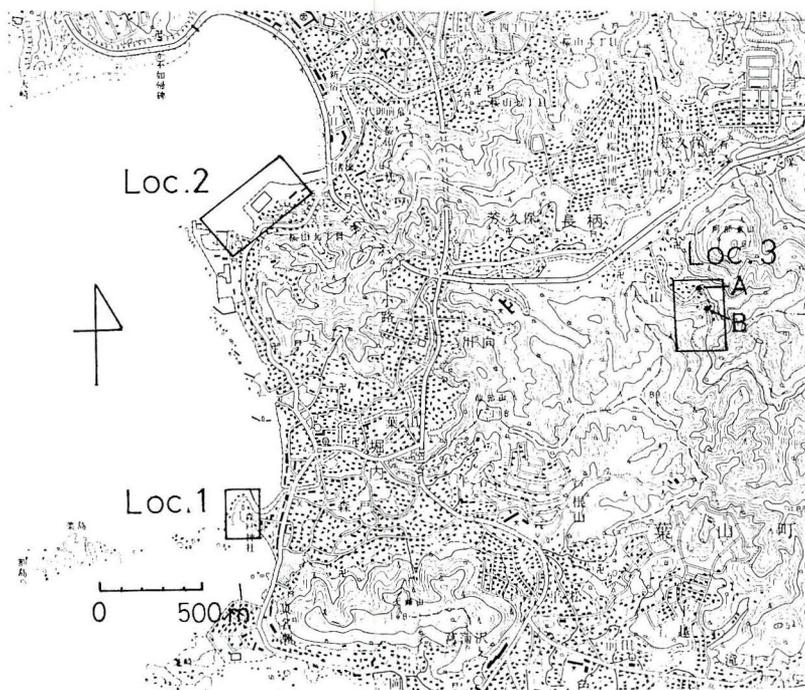


図1 葉山層群模式地の位置  
 Loc. 1 森戸硬質泥岩層  
 Loc. 2 鏡摺砂岩泥岩互層  
 Loc. 3 大山凝灰質砂岩層



図2 逗子市浄水管理センター建設前の鏡摺海岸1968. 2. 22. 松島義章氏撮影

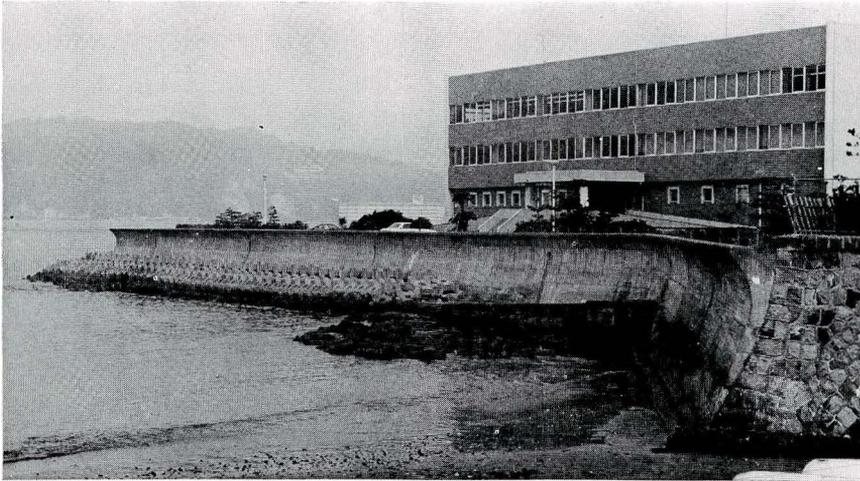


図3 現在の鏡摺海岸 1980. 11.7

褐色をした厚さ1 mほどの凝灰質中粒～粗粒砂岩と、厚さ20cmほどの泥岩との互層である。砂岩層中には炭化物の薄層厚さ1 cmがはさまれるほか、最大径50cmほどもあるノジュールが含まれる層準もある。走向傾斜はN38°W58°SWを示すこともあるが、断片的な露頭のため、この地域での一般的走向傾斜を測定するのは困難である。一方、海岸をはさんだ葉山港の防波堤沿いに露出する本累層も、凝灰質中粒～粗粒砂岩と泥岩との互層が主であるが、pebble大の古期岩類の礫を含む礫層厚さ50cm±がはさまれる。走向はN35°～40°Wで、傾斜は垂直に近くなる。泥岩層のラミナの発達や、礫岩層の級化構造から、地層の上下関係はNE方向が上位であることがわかる。

現在の露頭の状況は、小さな岩礁しか残っておらず、観察には干潮時が適当である。

なお、逗子市浄水管理センター敷地内と鏡摺の切通しには、葉山層群と三浦層群との不整合関係を示す鏡摺(田越川)不整合の露頭が、天然記念物(神奈川県、昭和52年指定)として保存されている。

#### B. 大山凝灰質砂岩層

大山凝灰質砂岩層は、塊状の凝灰質砂岩で特徴づけられ、小島(1954)により命名された地層ではあるが、三梨・矢崎(1968)らは本累層を再定義して、小島(1954)の大山凝灰質砂岩層に大沢砂礫岩層(小島・1954)の一部を含めた地層を、大山凝灰質砂岩層と

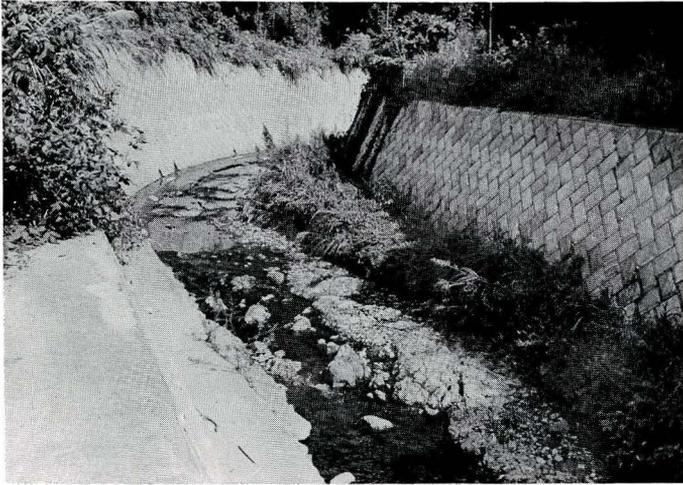


図4 葉山町大山付近の森戸川，  
図1のA地点

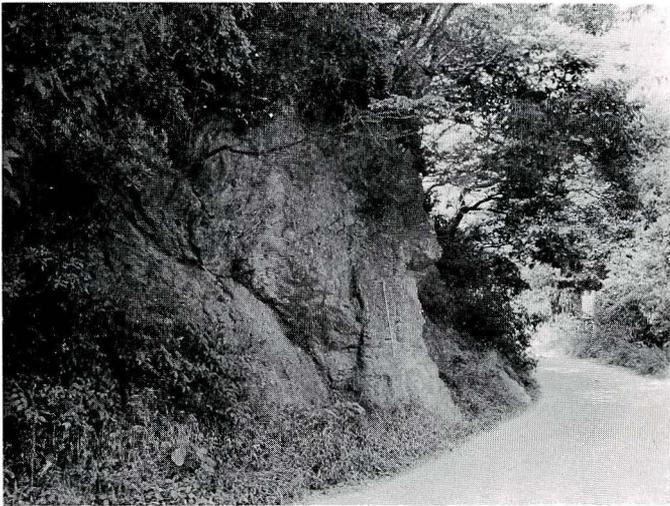


図5 葉山町大山こがね橋付近の  
大山凝灰質砂岩層，図1の  
B地点

した。模式地は、葉山町大山付近の森戸川沿いである（図1）。分布は、葉山町大山から同町木古庭にかけて広がる。本累層はまた、渡部・ほか（1968）の大沢礫岩層と大山砂岩層をあわせた地層に対比される。

模式地である葉山町大山付近の森戸川は、最近の河川整備による護岸工事で、コンクリートブロックの堤防が築かれた。そのため、川床の大山凝灰質砂岩層の露頭はわずかしか残されていない（図1・A地点，図4）。しかし、A地点より約250 mほど南にあるこがね橋の付近には、道路にそって約100 mほど断続的に露頭が存在し、観察することができる（図1・B地点，図5）。岩相は、塊状の凝灰質中粒砂岩を主とするが、まれに泥岩の厚さ15cmほどの薄層をはさむ。砂

岩層中には最大径1 cmほどのパミスを多く含む部分がある。走向傾斜は一般に、 $N20^{\circ}\sim30^{\circ}W65^{\circ}\sim75^{\circ}NE$ を示す。

#### 参考文献

三梨 昂・矢崎清貫 1968 日本油田・ガス田図6，三浦半島，地質調査所。

※他の文献は下記参照

平田大二 1980 葉山層群模式地の現状(1)，神奈川自然誌，1：49—50。

（神奈川県立博物館）